

- 世界陸上は、陸上競技における世界最高峰の大会です。
- 世界陸上は、1983年フィンランドのヘルシンキ大会から始まり、これまで19回開催されています。
- 1991年の東京大会までは4年ごと、現在は2年ごとに開催されています。

第1回	ヘルシンキ大会	フィンランド	1983年	第6回	アテネ大会	ギリシャ	1997年	第11回	大阪大会	日本	2007年	第16回	ロンドン大会	イギリス	2017年
第2回	ローマ大会	イタリア	1987年	第7回	セビリア大会	スペイン	1999年	第12回	ベルリン大会	ドイツ	2009年	第17回	ドーハ大会	カタール	2019年
第3回	東京大会	日本	1991年	第8回	エドモントン大会	カナダ	2001年	第13回	大邱大会	韓国	2011年	第18回	オレゴン大会	アメリカ合衆国	2022年
第4回	シュトゥットガルト大会	ドイツ	1993年	第9回	パリ大会	フランス	2003年	第14回	モスクワ大会	ロシア	2013年	第19回	ブダペスト大会	ハンガリー	2023年
第5回	イエテボリ大会	スウェーデン	1995年	第10回	ヘルシンキ大会	フィンランド	2005年	第15回	北京大会	中国	2015年	第20回	東京大会	日本	2025年

※第18回大会は、新型コロナウイルスの影響で、変則的に開催されました。

- 世界約200カ国・地域から約2,000人もの選手が出場し、世界中で約10億人の視聴者がいるといわれています。
- 世界陸上から生まれた世界新記録（世界最高記録）も多く、これまで数かすの名勝負を生み出してきました。
- 東京開催は1991年以来34年ぶり、日本開催は2007年大阪大会以来3回目です。
- 世界陸上を3回開催する国は日本が初めてで、日本において「世界陸上」は人気の国際スポーツ大会の一つです。

「世界陸上の歴史」

1983年



第1回大会はヘルシンキ(フィンランド)で開催。

1991年



日本で初開催となる1991年の東京大会。

2007年



第11回大会は大阪で開催されました。

2025年



第20回大会が東京で開催!

正式名称 (日本語) : 東京2025世界陸上競技選手権大会
 (英語) : World Athletics Championships Tokyo 25

略称 (日本語) : 東京2025世界陸上
 (英語) : WCH Tokyo 25

主催 : ワールドアスレティックス (WA、世界陸連)
 大会期間 : 2025年9月13日(土)から21日(日)まで、9日間
 会場 : 国立競技場ほか (マラソン、競歩は都内で実施)
 参加選手数 : 約2,000名
 参加国・地域数 : 約200カ国・地域
 種目数 : 49種目 (男子24種目、女子24種目、男女混合1種目)



WORLD ATHLETICS
 CHAMPIONSHIPS
 TOKYO 25



RikuOne
 りくワン

性格

- ・フェアプレー精神をもち、くじけない勇気とかかんに目標に向かう努力家
- ・心温かく、人の心に寄り添って、だれとでも仲良くなれる
- ・東京のお祭りが大好きで、世界陸上を楽しみにしている

チャームポイント

- ・走り回することで、エネルギーを生み出す
- ・首まわりの毛並みにたくわえたエネルギーが満タンになると踊り出す

毎日の楽しみ

- ・多摩産材のヒノキ風呂にゆっくり入って、ほっと一息
- ・最新のマイブームは銭湯めぐり

好きなこと

東京の名所めぐりランニング

特技

全力疾走

好きな色

江戸紫

好きな言葉

疾風迅雷

好きな食べ物

東京産の肉、魚、果物、野菜 (小松菜がお気に入り)

東京2025世界陸上を こどもに夢を届ける大会に

大会が「こどもに夢を届ける大会」となるよう、国立競技場への観戦招待や、競技を体験できるイベント開催などに取り組んでいます。



Kids' Athletics (キッズ・アスレティックス) は、ワールドアスレティックスによる、世界中の子供たちが陸上を通じて、自信と能力を伸ばし、生涯スポーツに親しむことを促す取組です。

Kids' Athletics (キッズ・アスレティックス) と連携した子供の参画について →



はしる
走メートル だん し
100m (男子)

ぜんかいたいかい きん かくとく
前回大会で金メダルを獲得したノア・ライ
ルズ選手（アメリカ）をはじめとしたアメリ
カ勢や、ジャマイカ勢などを中心に争われる
レースは激戦必至です。



にほん
日本からはサニブラウン アブデルハキーム
選手が初のメダル獲得を狙います。

ルートル じょ し
400mハードル (女子)

せ かい きろく ほ じ しゃ
世界記録保持者のシドニー・マクラフリン・
レヴロン選手（アメリカ）らの史上最高レベ
ルのトップ争いが、ここ国立競技場で見られ
るかが注目されています。

メートル じょ し
1500m (女子)

にほん きろく ほ じ しゃ た なかのぞ み せんしゅ せ かいりく
日本記録保持者の田中希実選手に、世界陸
上で同種目では日本人初となる入賞に期待し
たいところです。

メートルしろうがい だん し
3000m障害物 (男子)

み うらりゅう じ せんしゅ たいがいれんぞく にゅうしょう
三浦龍司選手の2大会連続の入賞、そして
初のメダル獲得に期待したいです。

えん ばん 投げ だん し
円盤投 (男子)

ぜんかいたいかい
前回大会、ダニエル・スタール選手（スウェー
デン）の大会新で大いに沸いたこの種目。陸上
男子最古となっていた世界記録を2024年に38
年ぶりに更新したミコラス・アレクナ選手（リ
トアニア）の投てきに注目が集まっています。



やり投 (女子)

パリオリンピックとブダペスト大会の金メダリストの北口榛花選手が自国開催の世界陸上で連覇に挑みます。



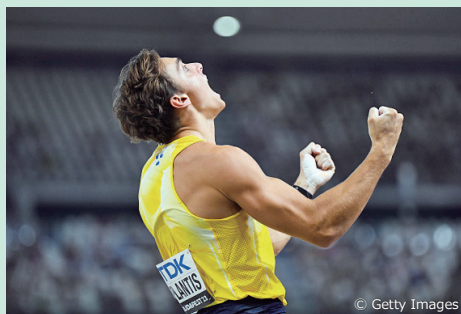
砲丸投 (男子)

世界記録保持者のライアン・クルーザー選手（アメリカ）のさらなる記録更新に注目が集まっています。



棒高跳 (男子)

アルマンド・デュブランティス選手（スウェーデン）が大会3連覇と自身の持つ世界記録のさらなる更新を狙っています。



走幅跳 (男子)

橋岡優輝選手の3大会ぶりの入賞と、初となるメダル獲得に期待したいところです。



三段跳 (男子)

2024年の欧州選手権で世界歴代3位となる18m18を記録したディアス・フォルト選手（スペイン）に30年ぶりの世界記録更新の期待がかかっています。



走高跳 (女子)

世界記録保持者であるヤロスラワ・マフチフ選手（ウクライナ）の大会連覇と世界記録の更新に期待がかかっています。

